

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
22102	社会福祉概論 Social welfare outline (Introduction)	根間 健吉	専門基礎	2	必修	2年後期

科目の概要

社会福祉の基礎知識、理論、歴史的な経緯や現状について学び、日常生活を支える社会保障の体系及び社会保険の仕組みと制度について学修する。具体的には日本の社会福祉の歴史、こどもの福祉、障害者福祉、高齢者福祉、地域福祉、生活保護の仕組みや医療保険制度の概要について入門理論を中心に学ぶ。この授業では、自立した社会人として、社会保障に関する一般的知識と技能と常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を生かしつつ組織や社会の中で貢献できる力を身につける。

学修内容	到達目標
① 社会保障の概念を知る。	① 社会保障の定義と概念、公衆衛生と社会保障、社会保障の歴史について説明できる。
② 子ども福祉、障害者福祉、高齢者福祉及び介護保険制度について知る。	② 児童福祉や母子保健、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険制度について説明できる。
③ 低所得者福祉、地域福祉、医療福祉及び精神保健福祉について、それぞれの目的や意義、特徴を知る。	③ 生活保護制度、地域福祉、医療保険制度の概要、精神保健福祉法の概要を説明できる。
④ 社会福祉施設の役割、社会福祉を担う人々、ソーシャルワークの意義と特徴を知る。	④ 社会福祉施設の体系及び社会福祉従事者の職種、社会福祉分野における相談・援助の役割と展開方法について説明できる。
⑤ 社会福祉の諸問題と栄養士に期待される役割を知る。栄養ケアマネジメントについて学ぶ。	⑤ 高齢者の在宅介護、福祉施設における栄養ケアマネジメントの在り方について説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	社会生活と健康に関する新聞記事をスクラップするなど、授業以外の時間を使い自分でテーマを設定して調べたことを記述、説明できること。
	働きかけ力	
	実行力	複雑な社会福祉制度を理解するに際し、困難があっても目標を変更せずやり抜く力を発揮して到達することができること。
考え抜く力	課題発見力	福祉・介護の制度について社会保障の概念、介護保険法に関するデータを収集し、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができること。
	計画力	
	創造力	在宅ケアや栄養ケアステーションなど、さまざまな制度の発動について、創設の背景や固定概念にとらわれることなく、いろいろな方向から考えることができること。
チームで働く力	発信力	生活に密着した地域福祉について、現況を分析し、コンピテンシーを抽出してわかりやすく工夫して説明できること。
	傾聴力	社会生活と健康に関する課題は山積されていることを認識し、人の意見を確認しながら新たなことに気づくことで、さらに自分の考えを構築し意見を述べることができること。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自制心を以って無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができること。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: コメディカルのための社会福祉概論(最新版) 鬼崎信好・本郷秀和編 講談社 価格 2,400円+税

参考文献: 厚生省の指標 増刊「国民の福祉の動向」 一般財団法人厚生労働統計協会

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 医療保険制度、生活と法律、公衆衛生学

資格との関連: 栄養士(管理栄養士)

学修上の助言	受講生とのルール
マスコミで報道される貧困、ホームレス、高齢者の孤独死、児童虐待など現代社会が直面する課題やテーマに関心をもち、私見をまとめて授業に参加するとよい。	まずは主体的に取り組むこと。予習・復習を必ず行い授業に参加すること。憲法で保障された「生存権」や「基本的人権」の持つ意味をしっかりと理解して授業に臨んでください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	社会保障の定義と概念、公衆衛生と社会保障、社会保障の歴史について理解できていること。 児童福祉や母子保健、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険制度について理解できていること。 生活保護制度、地域福祉、医療保険制度の概要、精神保健福祉法の概要を理解できていること。 社会福祉施設の体系及び社会福祉従事者の職種、社会福祉分野における相談・援助の役割と展開方法について理解できていること。 高齢者の在宅介護、福祉施設における栄養ケアマネジメントの在り方について理解できていること。 生活保護の仕組みについて、制度の現状や課題、最近の動向について理解できていること 全国栄養士実力認定試験の「B判定」以上の基礎知識の修得を基準とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート	20	①	✓	新聞などマスコミで報道される社会生活と健康に関し、身近で現代的問題をテーマとする。例えば、地域福祉や生活保護、高齢者福祉及び児童福祉の動向等である。 指定された課題に沿った内容であって、収集した資料に一貫性があり、かつ系統的に整理できていること。 レポートは A4サイズ 300 字程度とし、作成要領に基づいて作成し期限までに提出すること。なお、レポートの作成要領は授業で示すものとする。 (2点×10件)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	理解度を確認するためレポートに基づいて 3 分間スピーチを行う。ランダムに発表者を指名するので、明瞭で分かりやすい発表ができること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力(学修態度)	10	①		「主体性」授業以外の時間を使い、新聞報道等をスクラップするなど、自分で課題について調べたことをレポートにまとめ、成果発表ができること。 「実行力」社会保障の体系及び社会保険の仕組みと制度など、複雑で困難なテーマであっても地道に努力し、目標を変更せず到達することができること。 「課題発見力」生活保護の仕組みと高齢者の福祉に関して、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができること。 「創造力」児童福祉及び障害者福祉について、固定概念にとらわれることなく、いろいろな方向から考えることができること。 「発信力」新聞などマスコミで報道される身近な現代的問題を的確に工夫して発表できること。 「傾聴力」成果発表においては人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができること。 「規律性」無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができること。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他		①		授業態度は能動的であること。特に質問に対する自発的発言を重視する。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価割合	100		✓	筆記試験、毎週のワークシート、発表及び授業態度の成績を総合的に評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
★社会福祉の意義や目的及び歴史的な背景、社会保障の制度及び展開方法を系統的に説明できること。(①) ★児童福祉や母子保健、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険制度について概要を十分に説明できること。(②) ★生活保護制度、地域福祉、医療保険制度、精神保健福祉法の概要及び共生社会の重要性についてわかりやすく説明できること。(③) ★福祉施設の種類と役割、社会福祉分野での相談・援助の目的について記述し、口頭でも説明できること。(④) S(秀)＝①＋②＋③＋④、A(優)＝②＋③＋④	★社会福祉の意義や目的及び歴史的な背景について説明できること。(①) ★児童福祉や母子保健、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険制度について概要をある程度説明できること。(②) ★生活保護制度、地域福祉、医療保険制度の概要及び精神保健福祉法の概要、共生社会の重要性について概ね説明できること。(③) ★福祉施設の種類と役割について記述し、口頭でもわかりやすく説明できる。 B(良)＝①＋②＋③＋④、C(可)＝①＋②＋③

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	(社会福祉とは) 社会福祉を学ぶ目的、社会福祉とは何かについて、語源や歴史的系譜、「措置から契約へ」の流れを学ぶ。	講義	社会福祉を広義・狭義から理解しソーシャルワークなどの用語を整理でき、「措置から契約へ」の流れを説明できる。	(復習)社会福祉の目的や意義をまとめること。 (予習)テキストを参考に我が国の社会福祉の歴史を調べておくこと。	180	主体性 実行力
2週 /	(我が国の社会福祉の歴史) 古代から近世、明治から第二次世界大戦、第二次世界大戦後の変遷について学ぶ。また、福祉見直し論や社会福祉と税の一体改革の概要、最近の動向を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	古代社会と慈善救済、社会福祉事業の成立、福祉六法体制の確立、歴史及び持続可能な社会福祉制度について説明できる。	(復習)講義ノートを基礎にして社会福祉の古代から現代までの歴史を復習すること。 (予習)社会保険制度のあらましや保険の本質、公的扶助の必要性を調べておくこと。	180	主体性 実行力
3週 /	(社会保障制度と社会福祉を展開する組織) 社会保障制度の体系、社会保険、公的扶助、社会福祉を展開する組織及び今後の課題を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	社会保険制度のあらましや、保険の本質、公的扶助の必要性、社会福祉の第一線機関や団体について説明することができる。	(復習)社会保障制度の体系、社会保険、公的扶助について整理し復習すること。 (予習)少子化対策、子どもに係る法制度について調べておくこと。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
4週 /	(子ども福祉) 少子化対策、子どもに係る法制度、児童福祉関連施設、母子保健、児童虐待、子どもの貧困や子育て支援事業を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	少子化の問題点やその対策、児童福祉関連施設、母子保健、児童虐待、子どもの貧困、子育て支援事業について概要を説明できる。	(復習)少子化の問題点やその対策、母子保健、児童虐待について、講義ノートを参考に復習すること。 (予習)障害の概念について予習すること。	180	主体性 実行力
5週 /	(障害者福祉) 障害とは、障害者を支える理念、障害者福祉に関する法律、障害者総合支援法、障害者虐待について体系化して学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	障害の概念、障害に係る法律と定義、障害者総合支援法の背景及び目的、障害者総合支援法の内容、障害者虐待の現状と対策について説明することができる	(復習)障害の概念、障害に係る法律と定義、障害者総合支援法について整理し復習すること。 (予習)高齢者を取り巻く状況や超高齢社会と少子化の問題点について調べておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力
6週 /	(高齢者福祉) 高齢者を取り巻く状況、超高齢社会と少子化、高齢者を対象とした法制度、高齢者の生活、高齢者福祉の課題を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	我が国の高齢化と少子化、高齢化の現状と水準、高齢者の医療の確保に関する法律について概要を説明することができる。	(復習)高齢化の現状と水準、高齢者の医療の確保に関する法律について復習すること。 (予習)介護保険制度創設の背景や介護保険制度の概要を調べておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力
7週 /	(介護保険制度と専門職の役割) 介護保険制度創設の背景、介護保険制度の概要や介護保険制度を支えるマネジメントとケアマネジャー、チームアプローチについて学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	増える要介護高齢者、介護機能の社会的対応、介護保険制度のサービス、チームアプローチによる専門職の役割について説明することができる。	(復習)要介護高齢者、介護機能の社会的対応、介護保険制度のサービスの種類について復習すること。 (予習)現代社会における貧困の実態と生活保護の現状を調べておくこと。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
8週 /	(低所得者福祉) 貧困、生活保護制度、低所得者対策、公的扶助の現状及び今後の課題について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	現代社会における貧困、生活保護の基本原則、自立支援プログラム、社会手当制度、生活保護の現状について説明することができる。	(復習)貧困、生活保護制度、低所得者対策について復習すること。 (予習)社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア活動、NPOの役割を調べておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	(地域福祉) 地域福祉とは何か、地域福祉の推進組織と担い手、地域福祉計画とコミュニティー・ソーシャルワークについて学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	ノーマライゼーションとコミュニティケア、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア活動とNPOについて説明できる。	(復習)地域福祉の意義及び地域福祉の推進組織と担い手について復習する。 (予習)医療保険制度の概要について調べておくこと。	180	主体性 実行力 創造力
10週 /	(医療福祉) 医療保険制度の概要、保険診療の仕組み、医療機関の機能、医療福祉と専門職、医療ソーシャルワークについて学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	医療保険の種類、診療報酬制度、医療機関の機能分化、緩和ケア病棟、特定機能病院、療養型病床について説明できる。	(復習)医療保険制度の概要、保険診療の仕組みの要点をまとめて復習すること。 (予習)精神障害者の定義と分類について調べること。	180	規律性 課題発見力 発信力
11週 /	(精神保健) 精神障害者の定義及び実態、精神障害者を取り巻く状況、精神保健福祉法、障害者雇用促進法の概要を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	精神障害者の定義と分類、精神障害者の入院・外来の割合、精神科における入院期間、雇用義務制度、自殺の動向について説明できる。	(復習)精神障害者の定義、精神障害者を取り巻く状況、障害者雇用促進法の概要について復習すること。 (予習)テキストを参考に社会福祉施設の体系と社会福祉施設の推移を調べておくこと。	180	主体性 実行力
12週 /	(社会福祉施設の役割) 社会福祉施設の体系、社会福祉施設の推移、社会福祉施設の枠組みと今後の課題について学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	施設の目的と機能、施設の分類と現状や歩み、社会福祉法人の施設、施設最低基準、施設の近代化及び社会化について説明できる。	(復習)福祉施設の目的と機能、施設の分類、現状や歩みについて整理して復習すること。 (予習)社会福祉分野における従事者の現状、専門職の資格制度について調べておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力
13週 /	(社会福祉を担う人々) 社会福祉従事者の現状、社会福祉専門職の資格制度、主な専門職の仕事内容、社会福祉従事者の連携・協働の意義を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	社会福祉分野における従事者の現状、専門職の資格制度、専門職の仕事内容と資格化、社会福祉従事者の連携・協働の意義について説明できる。	(復習)主な専門職の仕事内容、社会福祉従事者の連携・協働の意義についてまとめること。 (予習)ケースワーク(個別援助活動)の原則、ソーシャルワークとは何か予習する。 また、レポート提出に向け整理・点検等の作業を行うこと。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
14週 /	(ソーシャルワーク) 社会福祉における相談援助の目的と対象、社会福祉における相談援助者の基本姿勢、相談援助の展開方法を学ぶ。	講義 レポート提出 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	社会福祉援助(相談援助)の原点と視点、ケースワーク(個別援助活動)の原則、相談援助の構成要素、相談援助活動のプロセスを説明できる。	(復習)ケースワーク(個別援助活動)の原則、相談援助の構成要素について復習する。 (予習)発表に向けて社会福祉に関する諸問題の例、保健医療従事者に期待される主な役割、栄養アセスメントと栄養管理の在り方などについてまとめ、練習をすること。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
15週 /	(社会福祉の問題とコメディカルへの期待) 社会福祉に関する諸問題の例、保健医療従事者に期待される主な役割、栄養アセスメントと栄養管理の在り方などについて発表する。	発表・まとめ 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	福祉従事者の確保、貧困問題、高齢者の在宅介護や移動手手段、災害弱者の問題及び、栄養ケアマネジメントなど福祉施設における栄養士の役割について説明できる。	(復習)社会福祉制度に関する学の総括及び栄養ケアマネジメントなど、栄養士の役割についてまとめる。	180	主体性 発信力 実行力 見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力